

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 3 日

事務事業名		各種農業団体等負担金助成事業				事業区分		担当		
政策体系上の位置付け		新規/継続				事務事業No.		050103000826		
総合計画の施策名		単独/補助				所属課		050101		
政策名		0501 農業の振興				主要事業		農林課		
施策名		05 魅力と活力のある産業社会づくり				市長マニフェスト				
基本事業名		01 農業の振興				未来PJ事業		グループ 農政G		
		03 農業の効率化推進				合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け		事業期間				単年度繰返し (年度~)				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
01	06	01	03	01	00		普通作物振興事業			
法令根拠						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
管内の農業振興を図るため、関係団体相互の連携により、農業技術・経営改善を推進し、市内の農業技術及び経営指導のための調査研究、連絡調整、また農業後継者の育成を担う。 28年度 負担金一覧 合計 1,674,000円 ・県農林航空防除実施団体協議会 負担金 17,000円 ・農林振興公社 (穀物改良事業) 負担金 269,000円 ・北つくば農協地域農業振興協議会 負担金 522,000円 ・筑西地域農業改良推進協議会 負担金 252,000円 ・農林振興公社 (園芸振興・環境保全事業) 負担金 493,000円 ・農業経営士研修 負担金 6,000円 ・茨城をたべよう運動推進協議会負担金 30,000円 ・ジェトロ茨城貿易情報センター事業運営 負担金 50,000円 ・県認定農業者連絡協議会 負担金 35,000円	・各種団体への総会・シンポジウム・講演会・講習会・研修会等への参加。 ・各種団体への負担金の支払い。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・各種団体への総会・シンポジウム・講演会・講習会・研修会等への参加。 ・各種団体への負担金の支払い。	会議等の開催回数	回	14.00	14.00	14.00	114.00	114.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市担当職員及び会員	市担当職員	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
農業振興のための技術の修得及び経営改善の能力を身に着ける	会議・研修等への参加回数	回	13.00	14.00	14.00	14.00	14.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	財源内訳	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定総投入量
量	費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		一般財源	1,636	1,674	1,674	1,674	1,674	0
	事業費計 (A)	1,636	1,674	1,674	1,674	1,674	0	
人件費	量	正規職員従事人数	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	0.00人	
		述べ業務時間	69.00	70.00	65.00	65.00	0.00	
		人件費計 (B)	200	203	189	189	0	
トータルコスト (A)+(B)			1,836	1,877	1,863	1,863	1,674	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
	金額	比率	内容	金額	比率	内容
19 負担金補助及び交付金	1,674			1,674		
合計	1,674			1,674		

(4) 当該年度の実施内容

29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業		

事務事業名	各種農業団体等負担金助成事業	事務事業No.	50103000826	所属課	農林課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ・市農業組織の上位団体であり、農業技術の向上、経営改善の指導、農業後継者の育成を効率的に行うために負担金の支払いが始められた。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・特になし
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) [結びついている] ・市の農業振興に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) [妥当である] ・県内の自治体で構成される協議会であり、農業振興に欠かせないため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) [向上余地がない] ・市内の農業者へ周知・啓発等しているが成果に反映させるのは難しい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) [影響有] ・県内の自治体という広域単位であるため、桜川市だけ抜けるのは難しい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒ 具体的な手段、事務事業名 [余地がない] ・類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) [削減余地がない] ・各協議会で負担金を設定するため削減は困難である。 ・最低限の人件費であるため削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) [公正・公平である] ・市内の業者に周知・啓発しているため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・各協議会の総会、講習会等に参加し、農業振興に役立つ情報収集の場となっている。																							
(3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 継続 □ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 (□ 目的の再設定 □ 効率性の改善 □ 有効性の改善 □ 公平性の改善 □ 統廃合ができる □ 連携ができる)	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑥ コスト削減優先度評価結果 ⑧																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 確認
--	---